

ビアリッツ宣言：
開かれた自由で安全なデジタル化による変革のための戦略
(骨子)

- 開かれた自由で安全なデジタル化による変革を促進するための最善の戦略を、現在の諸課題から保護する決意を改めて表明。
- インターネット及びデジタル化による変革において使われる関連技術が、我々の社会及び経済発展の重要な要因。しかし、社会的一体性及び民主主義的価値を脅かす否定的な影響が存在。
- 言論及び表現の自由に関する権利にコミット。「情報及び民主主義のための国際的なパートナーシップ」の設立に関する進展及び「メディアの自由に関する国際会議」の結果について、仏議長国から報告を受けた。
- 国家及び非国家主体による不法で悪意ある行動及び敵対的な干渉に対し、協働することを決意。ハイブリッドな脅威に対処する能力強化を継続し、G7 即応メカニズムの継続中の活動に留意。
- 「クライストチャーチ・コール」及び「テロ及びテロに通じる暴力的過激主義によるインターネットの悪用の防止に関する G 2 0 大阪首脳声明」によるモメンタムの継続に留意。インターネットのためのマルチステークホルダー憲章に関する見解について報告を受けた。
- データ、情報等の越境流通が、プライバシー、データ保護、知的財産権及びセキュリティに関する課題を提起する可能性。一方、生産性の向上、イノベーションの増大及びより良い持続可能な開発をもたらす。データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト（信頼性のある自由なデータ流通）は、デジタル化による変革の機会を活かすもの。
- AI が、社会、世界経済及び仕事の未来を変えており、人々の福祉を向上させる潜在力を有するが、経済、プライバシー、データ保護及び民主主義に対する影響をもたらす可能性を認識。
- AI に関する活動を進展させる方法を探求し続け、国際的な AI のイニシアティブを結集する。「AI に関するグローバル・パートナーシップ」等のイニシアティブを認識し、AI を進展させるための活動を支持する OECD の意図を歓迎。